

2. 報告事項

- (1) 平成 22 年度上半期の発注工事等にかかる入札・契約手続きの運用状況等について
- (2) 競争入札等参加資格停止等の運用状況について
- (3) 談合情報対応状況について
- (4) その他
  - ・平成 22 年度第 2 回定例会審議事案の抽出結果について
  - ・平成 22 年度第 1 回定例会議事概要の公表について
  - ・平成 22 年度発注見通しの公表について (工事) 第 2 回
  - ・平成 23・24 年度建設工事の競争入札等参加資格審査申請要領

意見・質問	回答等
<p><u>報告事項(1)～(4)について</u></p> <p>○様式 3 競争入札等参加資格停止等の運用状況一覧表の内容は。</p> <p>○様式 3 に掲載されている業者は、平成 21・22 年度の資格審査を受けた登録業者か。登録業者以外も含まれているのか。</p> <p>○長岡京市内業者が、指名停止を受けている。その理由は。</p> <p>○入札状況に関して、前年度に比べてどのような状況になっているのか。</p> <p>○今年度の契約の進捗状況は。</p> <p>○国の経済対策の発注工事は、含まれているのか。</p> <p>○前回は極端な低入札があったが、今回は無い。何か対策をとったのか。</p> <p>○予定価格の三分の二から 85 パーセントに設定する制度との違いは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 の業者は以前からの継続です。2～6 の業者は、平成 22 年度、新たに指名停止を行った業者です。また、指名停止期間が終わった業者は、掲載していません。</li> <li>・ここに掲載しているのは、長岡京市に登録がある業者だけで、登録業者以外は、含まれていません。</li> <li>・入札で行った不正又は不誠実な行為で、当該業者が一旦落札したが、配置する技術者の問題で契約の締結が出来ない状況が判明したので指名停止を行いました。</li> <li>・件数は 34 件でほぼ同じぐらいですが、契約金額が、1 億 4 千 4 百万円減少しています。</li> <li>・現在、73 件の契約が終わっています。後 7 件程残っています。総計では、80 件の予定ですが、この中には、来年度への繰越工事も含まれています。</li> <li>・対象工事 33 件のうち、9 件が国の緊急経済対策関連の工事です。</li> <li>・最低制限価格を 70 パーセントから 85 パーセントに引き上げています。</li> <li>・低入札価格調査制度ですが、一般競争入札に適用しています。平成 22 年度上半期は、対象工事がありません。85 パーセントに引き上げたのは、最低制限価格制度です。</li> </ul>